

# 市川 茂

## 記憶の部屋～箱根の山で出会った人々

会期：2017年12月6日(水)～2018年1月8日(月・祝)

会場：箱根写真美術館 1F展示室

時間：10:00-17:00 (最終入場)

休館日：毎週火曜日 ※年末年始・1月2日(火) 開館。

入館料：大人500円 小学生以下300円 未就学児童 無料



### 【展覧会概要】

1952年箱根・芦ノ湯に生まれた市川茂(いちかわしげる)氏は、1973年箱根彫刻の森美術館に入社、以来44年間美術の仕事に携わってきた人物です。美術館の仕事を通して、箱根の山にしながら世界で活躍するアーティストと出会い、世界と繋がることができたといえます。

市川氏は作品と作品を生む人を愛し、敬意をもって真摯に仕事に取り組んできました。その姿勢と、独特の風貌、深い瞳、純粋な心が、多くのアーティストの共感と信頼を得て、数十年続く交流が続いています。

本展では、市川氏自身の記憶、コレクションや資料を展示し、箱根で出会った人々、アーティストとの交流の軌跡をご覧ください。

また会期中、「記憶の部屋」の主である市川氏本人も在廊し、作品のエピソードもお話いただきます。(※日程調整のため、お問い合わせください)

箱根という地が、歴史的にも、またこれからも世界と日本の文化交流の拠点になり得る場所であるということ、それは個人単位でも可能になるということ、言葉を超えた美術の力を展覧会を通して感じていただき、そのヒントを市川氏の足跡に学びたいと考えています。

言葉を超えた美術の力を展覧会を通して感じていただき、そのヒントを市川氏の足跡に学びたいと考えています。

私は箱根から出たことがない、でも世界とつながることができた。

歩んできた道程は永く続く月の路。

### 【関連イベント】

#### ★オープニングパーティー

2017年12月9日(土) 15:00～17:30

一般：1D付¥1000

(事前申込・当日受付可)

★市川茂氏 在館予定日は箱根写真美術館まで、お問い合わせ下さい。

当館館長・写真家の遠藤桂もまた箱根人です。遠藤が24歳で上京する際、市川氏から前途を祝し彫刻作品「はばたき」を贈られました。今も良き理解者であり、尊敬すべき美術の専門家・愛好家である市川氏の永年の功績に賞賛を送ると共に、展覧会という形で新たな門出を祝したいと企画致しました。

**PRESS RELEASE**

Hakone museum of photography



撮影：遠藤桂

## 市川 茂 いちかわ しげる

1952年 箱根町芦ノ湯生まれ  
1973年 箱根彫刻の森美術館 入社  
1989年 ヘンリームーア財団から招待を受けて一ヶ月渡英  
1990年 文化財保存学 修復国際シンポジウムからの依頼により国立文化財研究所にて野外彫刻の保存管理について発表  
2008年 彫刻の森美術館の植栽担当  
2017年 11月退職

私は、44年間美術の仕事にかかわってきました。その中で多くのアーティストの方と交流して来ました。箱根から一歩も出たことのない私を育ててくれた彫刻の森美術館を卒業し、新たな人生をこれから歩んでいかなければなりません。そんな時、この展示会のお話を聞き私がやらなければならないことが見つかりそうなそんな気持ちが出てきました。

今回、この企画展を企画していただいた箱根写真美術館 遠藤桂氏、遠藤詠子両氏に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は私が44年間収集してきた作品と、60歳になった時から制作した作品、そして資料などを展示させていただきます。

わたしの記憶の部屋を是非ご覧いただけたら幸いです。

市川 茂

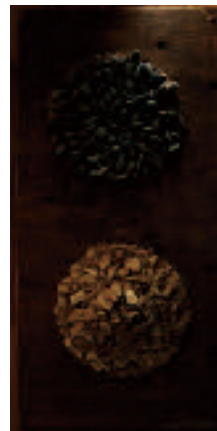


ベルギーの彫刻家

Tom Frantzen トム・フランツゼン氏より  
贈られた市川氏の肖像画 (1992年)



彫刻家・藤田昭子氏  
より贈られた作品



縁(2015) ©市川茂



記憶のテーブル(2013～)

### [会場／問合せ先]

箱根写真美術館 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432 電話 0460-82-2717 FAX: 0460-82-2717

URL <http://www.hmop.com> e-mail [info@hmop.com](mailto:info@hmop.com)

開館時間：10:00-17:00 (最終入場、閉館は17:30頃) 入館料：大人500円／小中学生300円※未就学児童無料

休館日：火曜休館 (年末年始・1/2 (火) は開館)

同時開催：遠藤桂「富士山」

**PRESS RELEASE**

Hakone museum of photography